

こどもまんなか ぼうようだい

第1回学校運営協議会

ま ち

「こどもまんなか」な望洋台に

14日(水)、望洋台地区では2年目となります学校運営協議会【コミュニティスクール】の活動が始まりました。望洋の街に関わる方が集まり、今年度の望洋台小、望洋台中の学校運営の説明を受け、経営方針が承認されました。その後の、熟議では、CSとしてできることを話し合いました。地域みんなで、子どもを育てたいという思いが伝わってきました。委員の方からは、「帰りがけの望中生に玄関前で会って、『さようなら』と声をかけられ、あったかい気持ちになりました」と、お褒めの言葉をいただきました。「私たちからも積極的に声をかけたい」とお話ししておられました。

名 前	役職等
【会長】 勝俣 信俊	望洋台町会長
【副会長】 早川 澄治	東小樽町会外灯部長
上 坂 政 明	望洋台町会副会長
横 尾 英 司	望洋台町会副会長
矢 野 ゆかり	東小樽町会健康福祉部
佐 藤 智 江	民生委員
橋 友 美	民生委員
井 村 文 俊	元校長
大 瀧 健 太	さくら幼稚園長
中 川 彩	望洋台小PTA会長
野 崎 理 恵	望洋台中PTA会長
脇 本 麻友美	望洋台小学校長
浦 崎 昌 明	望洋台中学校長
高 木 理 絵	望洋台小地域連携担当教諭
中 村 洋	望洋台中地域連携担当教諭
山 田 晃 弘	望洋台小教頭
河 邊 亮 宏	望洋台中教頭

昨年度は、地域とともにいった防災訓練や人材バンクを活用した職場体験がありました。今後の活動として、見守り活動の充実、ふれあいセンターの利活用、防災・キャリア教育への関わり、小中学生による町内会活動新企画・・・など、望洋の子どもを支えるたくさんのアイデアが出ました。

2025

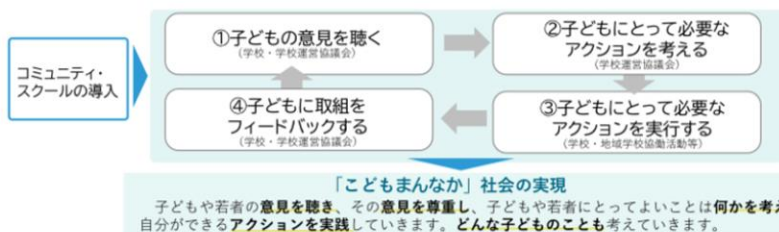
活動にむけたスタンス

「こどもまんなか ぼうようだい」

CSの
ねらい

「社会に開かれた教育課程」の実現 義務教育9年間の学びの充実 連携・協働体制の構築 学校を核とした地域づくり 社会総掛かりで子供たちを育む（出典：文科省地域学習推進課 「学校運営協議会」設置の手引き）

「こどもまんなか社会」とは、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会（出典：「子ども未来紀行」清原 慶子）





GD、経営方針、4月の様子を説明



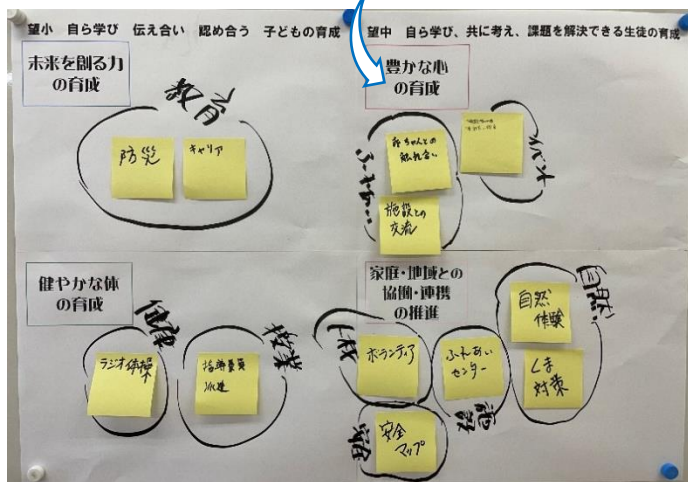
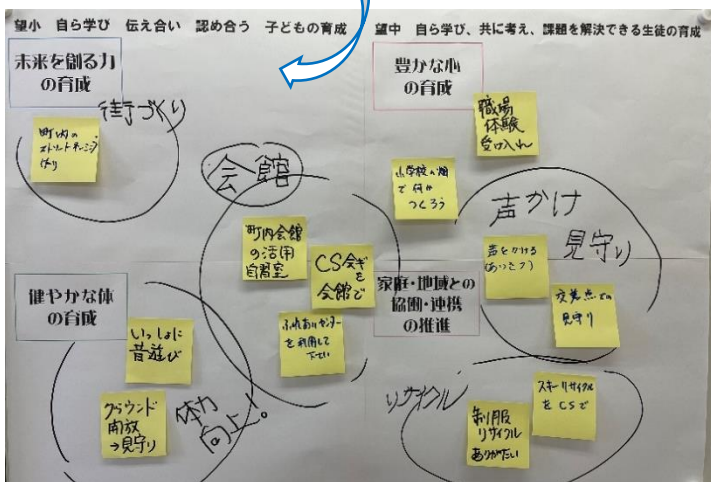
中学校部会

熟議シート

たくさんの「こどもまんなかアイデア」で、いろいろな力を育てたい。そして、ふるさと小樽・望洋を支える人になってほしい。



小学校部会



月	日(曜)	主な内容	備考
5	14(水)	第1回学校運営協議会 - 学校運営協議会委員への委嘱状交付(市教委) - 小樽市学校運営協議会規則について(市教委) - 会長・副会長の選出 - 望洋台地区学校運営協議会会則について - 令和7年度の学校経営について - 今年度の活動計画について - 推進事業の検討について(学校課題、地域課題の交流) - 学校評価について	○各校年間を通して ・学校運営協議会の取組等を職員会議やPTA事務局会議で報告
7		第2回学校運営協議会 - 具体的な推進事業の決定 - 合同研修会(学校・家庭・地域)の検討 1学期の子どもたちの様子と2学期に向けて	○各校第1回児童生徒保護者アンケートの実施
9 10 11		合同研修会	
12		第3回学校運営協議会 - 合同研修会の反省 - 推進事業の中間報告について 2学期の子どもたちの様子と3学期に向けて	○各校第2回児童生徒・保護者アンケートの実施
2		第4回学校運営協議会 - 学校評価について - 今年度の総括と次年度に向けて - 今年度の子ども達の様子と次年度に向けて	年間予定(会議)



熟議で話し合われたことを交流

昨年度話し合われた内容の1つに、『地域人材バンクの活用』がありました。学校の教育活動に地域の方々に関わってもらい、地域人材を効果的に活用していこうというものです。登下校の見守り活動、スキー学習の支援、学習サポート、読み聞かせ支援、学校図書館の整備、職場体験の受け入れ・・・など、様々な活動を通して、望洋台の子どもを育てていきたいと考えます。「これはできる」「こういうことをやってみたい」そんな声がありましたら、近くのCS委員や事務局(小中教頭)にお声かけください。